

Technical Information

TI 04L41B01-06JA

Daqstation DX/DXAdvanced 設定ファイル 変換ツール 操作説明書

DXAdvanced

はじめに

ご使用前にこの操作説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

本変換ツールは、設定内容に関して、旧 DX シリーズとの互換性を 100% 保証するものではありません。



旧 DX シリーズと、DXAdvanced シリーズの機能、設定項目や設定方法の違いなどから、変換されない設定項目や、変換における条件があります。

本変換ツールを使用して設定ファイルを変換した後は、DAQSTANDARD のハードウェア設定、または、DX 本体で設定内容を確認し、必要に応じ再設定をしてご使用ください。また、日付時刻など、設定ファイルに保存されない設定や、DXAdvanced シリーズで追加された機能などについても、お客様のご用途に合わせて設定をしてご使用ください。

■ ご注意

- ・ 本書の内容は、性能・機能の向上などにより将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、お手数ですが、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- ・ 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

■ 商標

- ・ 本書で使用の当社製品名またはブランド名は、当社の商標または登録商標です。
- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows XP、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe、Acrobat、および Postscript は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- ・ 本書では各社の登録商標または商標には、™ マーク、® マークは表示していません。
- ・ 本書で使用の各社製品名は、各社の商標、または登録商標です。

ご使用にあたっての注意

■ 本書の説明範囲

- このマニュアルでは、Windows XPなどのOSの基本的な操作については説明していません。OSの基本的な操作については、それぞれのユーザーズガイドなどをお読みください。

■ 本ソフトウェアの免責

- 当社は、当該ソフトウェアに関するいかなる保証も行いません。
- 当該ソフトウェアのご使用により、お客様または第三者が損害を被った場合、あるいは当社の予測できない当該ソフトウェアの欠陥などのため、お客様または第三者が被った損害およびいかなる間接的損害に対しても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本ソフトウェアの取り扱い注意

- 当該ソフトウェアを、バックアップの目的以外でコピーすることは、固くお断りいたします。
- 当該ソフトウェアの逆コンパイル、逆アセンブルなど（リバースエンジニアリング）を行うことは、固くお断りいたします。
- 当該ソフトウェアは、当社の事前の承認なしに、その全部または一部を譲渡、交換、転貸などによって第三者に使用させることは、固くお断りいたします。

**Daqstation
DX/DXAdvanced 設定ファイル変換ツール
操作説明書**

TI 04L41B01-06JA

目 次

はじめに.....	i
ご使用にあたっての注意	ii
1. 設定ファイル変換ツールについて	1-1
1.1 概要.....	1-1
1.2 必要な PC システム環境.....	1-1
1.3 変換対象	1-1
1.4 変換の条件	1-2
1.5 変換した設定ファイルについて	1-3
1.6 設定ファイルのロード	1-4
1.7 バージョン情報の表示	1-4
2. 設定ファイルの変換.....	2-1
2.1 起動と終了	2-1
2.2 変換元ファイルの指定	2-1
2.3 変換先ファイルの指定	2-2
2.4 変換の実行	2-2
3. メッセージと対処方法.....	3-1
改版情報.....	i

1. 設定ファイル変換ツールについて

1.1 概要

DX/DXAdvanced 設定ファイル変換ツールは、旧 DX シリーズ (DX100/DX200) の設定ファイルを、DXAdvanced シリーズ (DX1000/DX1000N/DX2000) の設定ファイルに変換するツールです。ご使用されている旧 DX シリーズを、DXAdvanced シリーズへリプレイスしていただく際の設定工数を削減し、リプレイスを効率的に行えるようにする為のものです。

● ダウンロードサイト

弊社ホームページ (<http://www.yokogawa.co.jp/ns/dxadv/download/>) からダウンロードしてご使用ください。

1.2 必要なPCシステム環境

本ソフトウェアには次の動作環境が必要です。

OS	Windows XP	Windows Vista	Windows 7
バージョン	Professional SP2、 SP3 (Professional x64 Editionを除く)	Business SP2 (64ビット 版を除く)	Professional (64ビット 版を除く)
CPU	Pentium II 333MHz以 上	Pentium IV 3GHz以上	
メモリ	128MB以上	2GB以上	
ハードディス ク	空き容量が100MB以上	NTFSを推奨	

1.3 変換対象

本変換ツールの変換対象は、下記になります。

	対象機種	バージョン	設定ファイルの拡張子
変換元	DX100 ^{*1} 、DX200 ^{*1}	リリースナンバー4 ^{*2}	.pnl
変換先	DX1000 ^{*3} 、DX1000N ^{*3} 、DX2000 ^{*3}	リリースナンバー4	.PDL

^{*1} 特注製品の設定ファイルも変換可能ですが、変換結果を保証できません。

^{*2} リリースナンバー3以前の設定ファイルも変換可能ですが、変換結果を保証できません。

^{*3} 拡張セキュリティ機能（オプション /AS1）付きを除きます。

1.4 変換の条件

旧DXシリーズと、DXAdvancedシリーズの機能、設定項目や設定方法の違いなどから、変換されない設定項目や、変換における条件があります。

本変換ツールを使用して設定ファイルを変換した後は、DAQSTANDARDのハードウェア設定、または、DX本体で設定内容を確認し、必要に応じ再設定をしてご使用ください。

● 変換されない設定項目

旧DXの設定項目	DXAdvancedの説明・対応方法
夏時間設定	夏時間の設定をしてください。
マニュアルセーブ時の保存データ	未セーブデータ一括保存のみになります。
入力フィルタ(DX102/DX104/DX204/DX208のみ)	機能はありません。
アプリケーション、スーパバイザ、マネージャ名	テキストフィールドに設定してください。
バッチ番号、ロット番号	バッチ番号、ロット番号を設定してください。
コメント番号、コメント文字列	バッチコメントに設定してください。
メモリデータ表示情報	画面メニューの情報表示でファイル名表示、時刻表示が可能です。
イベントデータのブロック数	機能はありません。
メモリアラーム時間	機能はありません。
メモリ出力の通信設定	設定は不要です。
キーログイン/ログアウトのユーザIDの有/無	機能はありません。
DNSのOn/Off	DNS情報取得を設定してください。

● 変換における条件

変換元の設定内容	変換先の設定内容
測定チャネルのモードが電圧、スケール、Delta、またはSqrtで、測定レンジが20mV,200mV,2V,20Vの場合のスパン上/下限値の桁数（4桁）	5桁に変換。
演算チャネル31～60	101～130に変換。
測定チャネルのモードが電圧またはDeltaで、測定レンジが20mV,200mV,2V,20Vの場合のアラーム値の桁数（4桁）	5桁に変換
測定チャネルのモードが電圧またはDeltaで、測定レンジが20mV,200mV,2V,20Vの場合の部分圧縮の境界線値（4桁）	5桁に変換。
トレンドの表示方向の設定：[横2]	トレンド表示方向：[横長]
トレンド/バーグラフのスケールの分割数設定：[C10]	スケールの目盛り分割数：[C10]、バーグラフの目盛り分割数：[10]
バックライトセーバ：[On]	バックライトセーバモード：[減光]
アラームヒステリシス：[On]	測定チャネルの上下限アラームのヒステリシス：[0.5]
アラームヒステリシス：[Off]	測定チャネルの上下限アラームのヒステリシス：[0]

変換元の設定内容	変換先の設定内容
イベントデータのデータ長：[3min]、[5min]	イベントデータのデータ長：[10min]
リモートアクション：[トリガ]、外部トリガ：[On]	イベントアクションに設定。ただし、外部トリガが[Off]の場合は、設定されない。
キーログイン：[有]	セキュリティ機能のキー設定：[ログイン]
自動ログアウト：[On]	自動ログアウト：[10min]
キーロック：[有]、かつキーログイン：[有]のキーロック設定	キーロック設定をユーザ制限のキー操作に設定。
キーログインのセットアップ：[不許可]の場合のユーザ名、パスワード	ユーザの登録を一般ユーザに設定。
キーログインのセットアップ：[許可]の場合のユーザ名、パスワード設定	ユーザの登録をシステム管理者に設定。ただし、システム管理者が5人を超えた場合、一般ユーザに設定。
Webサーバのページ種類：[モニタ]のユーザ名、パスワード	一般ユーザに設定。
Webサーバのページ種類：[オペレータ]のユーザ名、パスワード	システム管理者に設定。ただし、システム管理者が5人設定されている場合、一般ユーザに設定。

1.5 変換した設定ファイルについて

設定ファイルのヘッダーは、変換元の機種にかかわらず、DX2000の最大の仕様、オプション（/AS1、/PM1を除く）で生成されますが、DXAdvancedでは設定ファイルをロードする際、ヘッダーは参照していませんので影響はありません。

DAQSTANDARDのハードウェア設定でシステム構成の表示をすると、下記の様に表示されます。

● 設定ファイルのヘッダー



1.6 設定ファイルのロード

設定ファイルをDXAdvancedでロードするときは、基本設定モードから行ってください。

設定モードでロードした場合、基本設定の内容はロードされません。

また、DXAdvanced本体の仕様と合わない設定内容は実行エラーとなり、設定は変更されません。設定内容を確認した後、必要に応じて設定を行ってください。

例 装着されていないチャネル番号の設定

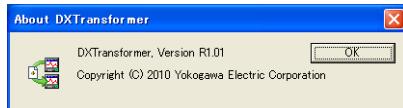
- DXAdvanced本体で表示されるエラー内容
エラーコード：3（設定エラー）
メッセージ内容：「設定できないチャネルを選択しています。」

1.7 バージョン情報の表示

- 左上のアイコンをクリックして、システムメニューを開きます。



- [About DXTransformer] をクリックします。
バージョン情報のダイアログボックスが表示されます。



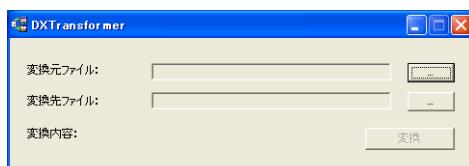
- [OK] をクリックすると、バージョン情報のダイアログボックスが閉じます。

2. 設定ファイルの変換

2.1 起動と終了

● 起動

DXTransformerJp.exe をダブルクリックします。DXTransformer の画面が表示されます。



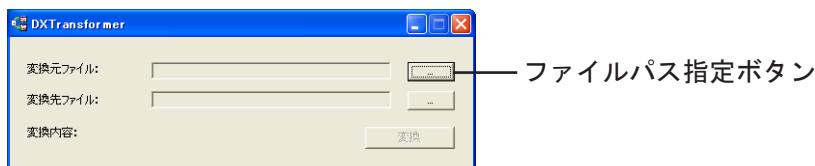
● 終了

左上のアイコンをクリックして、システムメニューを開きます。
[閉じる] をクリックして DXTransformer を終了します。



2.2 変換元ファイルの指定

- [変換元ファイル] のファイルパス指定ボタンをクリックします。
[ファイルを開く] のダイアログボックスが表示されます。

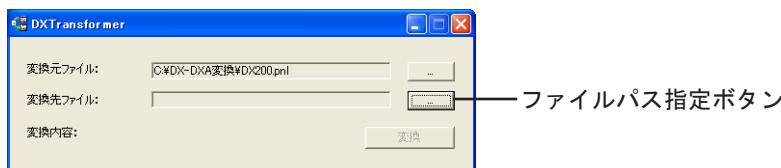


- 変換元の設定ファイルを指定して、[開く] をクリックします。
[変換元ファイル] のエディットボックスに、指定されたファイル名が表示されます。



2.3 変換先ファイルの指定

- [変換先ファイル] のファイルパス指定ボタンをクリックします。
[名前を付けて保存] のダイアログボックスが表示されます。



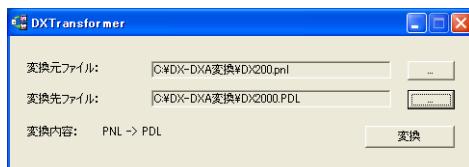
- 変換先ファイルの保存先とファイル名を指定して、[保存] をクリックします。
[変換先ファイル] のエディットボックスに、指定されたファイル名が表示されます。



2.4 変換の実行

[変換] をクリックします。

正常に変換が終了すると、[正常に変換されました] のメッセージボックスが表示されます。[OK] をクリックして終了します。



正常に変換が終了した場合のメッセージ



3. メッセージと対処方法

DX/DXAdvanced設定ファイル変換ツールでは次のようなメッセージが表示されることがあります。

メッセージ	説明・対処方法
設定ファイルがありません。	変換元の設定ファイルが存在していないか、ファイル名が正しくありません。 指定したファイル名やフォルダが正しいか確認してください。
設定ファイルが正しくありません。	設定ファイルが壊れているか、設定ファイルのフォーマットが正しくありません（変換対象の設定ファイルではありません）。 正しいファイルを指定してください。
ディスクの空き容量が不足しています。	ディスクの空き容量を確保してください。
無効なファイル名が使われています。	変換先の設定ファイル名が258バイトを超えてるか、ファイル名に使用できない文字が使われています。 正しいファイル名を指定してください。
XXX ファイルが存在します。 上書きしますか？	上書きするかしないかを判断して操作してください。
正常に変換されました。	変換が正常に行われました。

改版情報

資料名称 : DX/DXAdvanced 設定ファイル変換ツール 操作説明書

資料番号 : TI 04L41B01-06JA

2010年9月／初版

新規発行

■ 著作者 横河電機株式会社
■ 発行者 横河電機株式会社
〒 180-8750 東京都武藏野市中町 2-9-32
